

☆帝國主義國、後進國、「労働者國家」
三ブロック階級闘争を
世界プロ独一世界共産主義の勝利へ！
共産主義者同盟(戦旗派)

10月3日
毎月3回 3の日発行
第310号
編集発行人 徳島 昌
一部 50円
定価料200円1,200円(年刊)

戦旗

戦旗社
東京都千代田区三軒町2-7
7-6地六ビル内電話F403
(03)2961 郵便東京 5210

10.8 相模原 現地闘争
2 時 矢野共闘 大会
10.10 高野明 第一回大会
9 時 明大 本校
10.19 共産同(戦旗派) 政治集会
5時半 牛込公会堂

共産同(戦旗派)政治集会へ結集し 10・21全国結集をもって闘い抜け！

10・8相模原—北熊本闘争の 爆発から10・21へ進撃せよ！

「10・8相模原の闘争は、戦旗派の同志が中心となって、学生、労働者、市民の連帯で進められた。これは、戦旗派の政治的立場を明確に示す重要な一歩である。この闘争を通じて、戦旗派の政治的立場が、多くの人々の心に刻み込まれた。この闘争を、10・21の全国結集へと進撃させるべきである。」

「10・8相模原の闘争は、戦旗派の同志が中心となって、学生、労働者、市民の連帯で進められた。これは、戦旗派の政治的立場を明確に示す重要な一歩である。この闘争を通じて、戦旗派の政治的立場が、多くの人々の心に刻み込まれた。この闘争を、10・21の全国結集へと進撃させるべきである。」

「10・8相模原の闘争は、戦旗派の同志が中心となって、学生、労働者、市民の連帯で進められた。これは、戦旗派の政治的立場を明確に示す重要な一歩である。この闘争を通じて、戦旗派の政治的立場が、多くの人々の心に刻み込まれた。この闘争を、10・21の全国結集へと進撃させるべきである。」

「10・8相模原の闘争は、戦旗派の同志が中心となって、学生、労働者、市民の連帯で進められた。これは、戦旗派の政治的立場を明確に示す重要な一歩である。この闘争を通じて、戦旗派の政治的立場が、多くの人々の心に刻み込まれた。この闘争を、10・21の全国結集へと進撃させるべきである。」

「10・8相模原の闘争は、戦旗派の同志が中心となって、学生、労働者、市民の連帯で進められた。これは、戦旗派の政治的立場を明確に示す重要な一歩である。この闘争を通じて、戦旗派の政治的立場が、多くの人々の心に刻み込まれた。この闘争を、10・21の全国結集へと進撃させるべきである。」

「10・8相模原の闘争は、戦旗派の同志が中心となって、学生、労働者、市民の連帯で進められた。これは、戦旗派の政治的立場を明確に示す重要な一歩である。この闘争を通じて、戦旗派の政治的立場が、多くの人々の心に刻み込まれた。この闘争を、10・21の全国結集へと進撃させるべきである。」

「10・8相模原の闘争は、戦旗派の同志が中心となって、学生、労働者、市民の連帯で進められた。これは、戦旗派の政治的立場を明確に示す重要な一歩である。この闘争を通じて、戦旗派の政治的立場が、多くの人々の心に刻み込まれた。この闘争を、10・21の全国結集へと進撃させるべきである。」

「10・8相模原の闘争は、戦旗派の同志が中心となって、学生、労働者、市民の連帯で進められた。これは、戦旗派の政治的立場を明確に示す重要な一歩である。この闘争を通じて、戦旗派の政治的立場が、多くの人々の心に刻み込まれた。この闘争を、10・21の全国結集へと進撃させるべきである。」

共同反革命を蜂起・内戦へ 政治集会の圧倒的成功を！

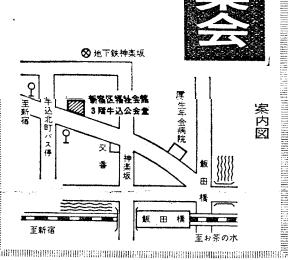
「10・21の全国結集は、戦旗派の同志が中心となって、学生、労働者、市民の連帯で進められた。これは、戦旗派の政治的立場を明確に示す重要な一歩である。この結集を通じて、戦旗派の政治的立場が、多くの人々の心に刻み込まれた。この結集を、10・21の全国結集へと進撃させるべきである。」

「10・21の全国結集は、戦旗派の同志が中心となって、学生、労働者、市民の連帯で進められた。これは、戦旗派の政治的立場を明確に示す重要な一歩である。この結集を通じて、戦旗派の政治的立場が、多くの人々の心に刻み込まれた。この結集を、10・21の全国結集へと進撃させるべきである。」

「10・21の全国結集は、戦旗派の同志が中心となって、学生、労働者、市民の連帯で進められた。これは、戦旗派の政治的立場を明確に示す重要な一歩である。この結集を通じて、戦旗派の政治的立場が、多くの人々の心に刻み込まれた。この結集を、10・21の全国結集へと進撃させるべきである。」

「10・21の全国結集は、戦旗派の同志が中心となって、学生、労働者、市民の連帯で進められた。これは、戦旗派の政治的立場を明確に示す重要な一歩である。この結集を通じて、戦旗派の政治的立場が、多くの人々の心に刻み込まれた。この結集を、10・21の全国結集へと進撃させるべきである。」

1019共産同(戦旗派)政治集会
時 所 一〇月一九日五時三〇分 牛込公会堂
基調報告 日向 翔
挨拶 共青同全国委員会 日本反帝戦線
連帯挨拶 三里塚芝山連合空港反対同盟
沖繩青年同盟



「10・21の全国結集は、戦旗派の同志が中心となって、学生、労働者、市民の連帯で進められた。これは、戦旗派の政治的立場を明確に示す重要な一歩である。この結集を通じて、戦旗派の政治的立場が、多くの人々の心に刻み込まれた。この結集を、10・21の全国結集へと進撃させるべきである。」



「10・21の全国結集は、戦旗派の同志が中心となって、学生、労働者、市民の連帯で進められた。これは、戦旗派の政治的立場を明確に示す重要な一歩である。この結集を通じて、戦旗派の政治的立場が、多くの人々の心に刻み込まれた。この結集を、10・21の全国結集へと進撃させるべきである。」

9.24 埼玉糾弾共闘結成へ！ 死刑判決阻止へ更に進撃

「9.24埼玉糾弾共闘結成へ！死刑判決阻止へ更に進撃。この共闘は、戦旗派の同志が中心となって、学生、労働者、市民の連帯で進められた。これは、戦旗派の政治的立場を明確に示す重要な一歩である。この共闘を通じて、戦旗派の政治的立場が、多くの人々の心に刻み込まれた。この共闘を、10・21の全国結集へと進撃させるべきである。」

「9.24埼玉糾弾共闘結成へ！死刑判決阻止へ更に進撃。この共闘は、戦旗派の同志が中心となって、学生、労働者、市民の連帯で進められた。これは、戦旗派の政治的立場を明確に示す重要な一歩である。この共闘を通じて、戦旗派の政治的立場が、多くの人々の心に刻み込まれた。この共闘を、10・21の全国結集へと進撃させるべきである。」

「9.24埼玉糾弾共闘結成へ！死刑判決阻止へ更に進撃。この共闘は、戦旗派の同志が中心となって、学生、労働者、市民の連帯で進められた。これは、戦旗派の政治的立場を明確に示す重要な一歩である。この共闘を通じて、戦旗派の政治的立場が、多くの人々の心に刻み込まれた。この共闘を、10・21の全国結集へと進撃させるべきである。」

「9.24埼玉糾弾共闘結成へ！死刑判決阻止へ更に進撃。この共闘は、戦旗派の同志が中心となって、学生、労働者、市民の連帯で進められた。これは、戦旗派の政治的立場を明確に示す重要な一歩である。この共闘を通じて、戦旗派の政治的立場が、多くの人々の心に刻み込まれた。この共闘を、10・21の全国結集へと進撃させるべきである。」

「9.24埼玉糾弾共闘結成へ！死刑判決阻止へ更に進撃。この共闘は、戦旗派の同志が中心となって、学生、労働者、市民の連帯で進められた。これは、戦旗派の政治的立場を明確に示す重要な一歩である。この共闘を通じて、戦旗派の政治的立場が、多くの人々の心に刻み込まれた。この共闘を、10・21の全国結集へと進撃させるべきである。」

「9.24埼玉糾弾共闘結成へ！死刑判決阻止へ更に進撃。この共闘は、戦旗派の同志が中心となって、学生、労働者、市民の連帯で進められた。これは、戦旗派の政治的立場を明確に示す重要な一歩である。この共闘を通じて、戦旗派の政治的立場が、多くの人々の心に刻み込まれた。この共闘を、10・21の全国結集へと進撃させるべきである。」

10・10 高叛共闘第二回大会に総集せよ!

日本共産党の指導部は、10月10日、東京で高叛共闘第二回大会を開く。この大会は、高叛共闘の発展と、日本共産党の指導部との連携を目的として開かれる。大会には、高叛共闘の各支部から代表者が参加し、今後の活動方針や、日本共産党との連携方法について話し合う。大会は、高叛共闘の発展と、日本共産党の指導部との連携を目的として開かれる。

高叛共闘中央書記局は、10月10日、東京で高叛共闘第二回大会を開く。この大会は、高叛共闘の発展と、日本共産党の指導部との連携を目的として開かれる。大会には、高叛共闘の各支部から代表者が参加し、今後の活動方針や、日本共産党との連携方法について話し合う。大会は、高叛共闘の発展と、日本共産党の指導部との連携を目的として開かれる。

革命的高校生運動の現状と 我々の闘いの方向性

革命的高校生運動の現状と我々の闘いの方向性について、高叛共闘中央書記局は、10月10日、東京で高叛共闘第二回大会を開く。この大会は、高叛共闘の発展と、日本共産党の指導部との連携を目的として開かれる。大会には、高叛共闘の各支部から代表者が参加し、今後の活動方針や、日本共産党との連携方法について話し合う。大会は、高叛共闘の発展と、日本共産党の指導部との連携を目的として開かれる。

革命的高校生運動の現状と我々の闘いの方向性について、高叛共闘中央書記局は、10月10日、東京で高叛共闘第二回大会を開く。この大会は、高叛共闘の発展と、日本共産党の指導部との連携を目的として開かれる。大会には、高叛共闘の各支部から代表者が参加し、今後の活動方針や、日本共産党との連携方法について話し合う。大会は、高叛共闘の発展と、日本共産党の指導部との連携を目的として開かれる。

今秋闘争 部落・叛軍教育の大攻勢を勝ちとれ!

今秋闘争 部落・叛軍教育の大攻勢を勝ちとれ! 高叛共闘中央書記局は、10月10日、東京で高叛共闘第二回大会を開く。この大会は、高叛共闘の発展と、日本共産党の指導部との連携を目的として開かれる。大会には、高叛共闘の各支部から代表者が参加し、今後の活動方針や、日本共産党との連携方法について話し合う。大会は、高叛共闘の発展と、日本共産党の指導部との連携を目的として開かれる。

沖繩、米軍基地で 労働者射殺される!!

沖繩、米軍基地で労働者射殺される!! 高叛共闘中央書記局は、10月10日、東京で高叛共闘第二回大会を開く。この大会は、高叛共闘の発展と、日本共産党の指導部との連携を目的として開かれる。大会には、高叛共闘の各支部から代表者が参加し、今後の活動方針や、日本共産党との連携方法について話し合う。大会は、高叛共闘の発展と、日本共産党の指導部との連携を目的として開かれる。

特別あいさつ 共産(同)旗派 日向 翔 日本反帝戦線中央書記局 中島 修

特別あいさつ 共産(同)旗派 日向 翔 日本反帝戦線中央書記局 中島 修

特別あいさつ 共産(同)旗派 日向 翔 日本反帝戦線中央書記局 中島 修

10・10 日産自動車 反労働者体制 労働者団体の闘争

10・10 日産自動車 反労働者体制 労働者団体の闘争

明大・学費闘争の口火切り 2部学生課長を糾弾す!

明大・学費闘争の口火切り 2部学生課長を糾弾す!

明大・学費闘争の口火切り 2部学生課長を糾弾す!

獄中弾圧を許すな! 9・17東拘一女性懲罰を

獄中弾圧を許すな! 9・17東拘一女性懲罰を

大弾圧を粉碎し サイル搬入阻止へ!

大弾圧を粉碎し サイル搬入阻止へ!

大弾圧を粉碎し サイル搬入阻止へ!

長沼 労働者団体の闘争

長沼 労働者団体の闘争



明大反帝戦線の追及に、うるたえる2部学生課長

明大反帝戦線の追及に、うるたえる2部学生課長

明大反帝戦線の追及に、うるたえる2部学生課長

明大反帝戦線の追及に、うるたえる2部学生課長

明大反帝戦線の追及に、うるたえる2部学生課長

田中政府の帝国主義的延命策

田中政府は、自衛隊の増強と、東南アジアへの侵略的野望を、四次にわたる防衛計画で明らかにしている。これは、日本が、第二次世界大戦後、初めて、自衛隊の増強と、東南アジアへの侵略的野望を、四次にわたる防衛計画で明らかにしている。これは、日本が、第二次世界大戦後、初めて、自衛隊の増強と、東南アジアへの侵略的野望を、四次にわたる防衛計画で明らかにしている。

帝軍一自衛隊の 強化・確立の過程

自衛隊の増強と、東南アジアへの侵略的野望を、四次にわたる防衛計画で明らかにしている。これは、日本が、第二次世界大戦後、初めて、自衛隊の増強と、東南アジアへの侵略的野望を、四次にわたる防衛計画で明らかにしている。

東南アジアへの侵略反革命を謀る日帝の 四次にわたる防衛に賭ける70年代戦略

東南アジアへの侵略反革命を謀る日帝の四次にわたる防衛に賭ける70年代戦略。これは、日本が、第二次世界大戦後、初めて、自衛隊の増強と、東南アジアへの侵略的野望を、四次にわたる防衛計画で明らかにしている。

本シリーズの 構成

- 四次にわたる防衛に賭けた侵略反革命の野望
- 自衛隊の増強と、東南アジアへの侵略的野望
- 日米同盟の強化と、東南アジアへの侵略的野望
- 東南アジアへの侵略反革命を謀る日帝の四次にわたる防衛に賭ける70年代戦略

日中共同声明の 「画期的特徴」

日中共同声明の「画期的特徴」。これは、日本が、第二次世界大戦後、初めて、自衛隊の増強と、東南アジアへの侵略的野望を、四次にわたる防衛計画で明らかにしている。

「日中共同声明」と 転機に立つ日本帝国主義

「日中共同声明」と転機に立つ日本帝国主義。これは、日本が、第二次世界大戦後、初めて、自衛隊の増強と、東南アジアへの侵略的野望を、四次にわたる防衛計画で明らかにしている。

転機に立つ日帝 の延命の方向性

転機に立つ日帝の延命の方向性。これは、日本が、第二次世界大戦後、初めて、自衛隊の増強と、東南アジアへの侵略的野望を、四次にわたる防衛計画で明らかにしている。

平和共存・一國 主義への転落

平和共存・一國主義への転落。これは、日本が、第二次世界大戦後、初めて、自衛隊の増強と、東南アジアへの侵略的野望を、四次にわたる防衛計画で明らかにしている。

国際主義の旗高 く更に前進せよ

国際主義の旗高く更に前進せよ。これは、日本が、第二次世界大戦後、初めて、自衛隊の増強と、東南アジアへの侵略的野望を、四次にわたる防衛計画で明らかにしている。

闘争スケジュール

- 北州 10・8 北熊木派兵阻止闘争 一時 熊大
- 北海道 10・15 以降長沼ミサイル搬入阻止連続闘争

	10月	11月	12月
陸上	10000	10000	10000
海軍	10000	10000	10000
航空	10000	10000	10000
合計	計1650人	計2050人	計2930人